

くずは

2026. 4. 10
発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

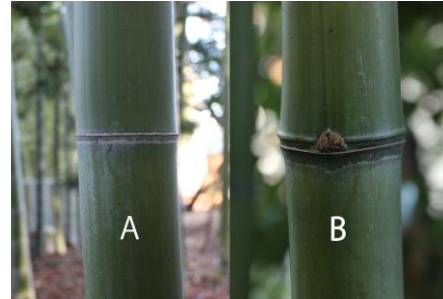
今月の話題 「九沢の竹林」

皆さんは、葛葉緑地に竹林があることをご存じですか？ 緑地の東端（緑地内の葛葉川の最も下流）の九沢（くさわ）という場所です。葛葉緑地にあるタケ・ササ類は、川沿いにアズマネザサの群落がたくさんありますが、緑地内で竹林があるのはこの場所だけです。3月に、ボランティアの会の皆さんにお手伝いいただき、竹林の整備を行いました。枯れた竹や混み合った竹を切り、風通しを良くして、新しく竹林を育てていくのが目的です。しかし近年、緑地に入り込んだシカに竹の子が食われ、新しい竹が育たなくなっていて、現在は、育ちきった竹ばかりとなっています。

タケ・ササ類と書きましたが、タケとササはどこで区別しているのでしょうか？答えは竹の子の時の皮にあります。育ちきったときに節（ふし）に皮が残っているものをササと呼び、全て取れてしまっているものをタケとよびます。そもそもタケ・ササ類は木なのでしょう。草なのでしょう？竹の幹（茎）を切ってみると中が中空になっていて年輪がありません。この茎が中空というのはイネ科の植物の特徴でタケやササは木の性質を持った草と言えます。このようなイネ科の植物の中空になった幹や茎のことは「稈（かん）」と呼びます。

春は美味しい筍（たけのこ）の季節です。4月の中旬を過ぎると、太くて大きいモウソウチク（孟宗竹）の筍が売られるようになります。私はこのたけのこ御飯が大好きです。一月後の5月下旬になると、今度はマダケ（真竹）の筍が出てきます。モウソウチクは中国原産のマダケ属の竹で、日本には江戸時代（1830年頃）に移入

されたと言われている。また、マダケは日本にもともと自生していた竹です。マダケとモウソウチクは節の部分の隆起の数で区別できます。節の隆起が1本なのがモウソウチクで、2本なのがマダケです。“日本（2本）のマダケ”と覚えてください。



問題：AとBどちらがマダケでしょうか？
（答えは本文を読んでね）

竹の子は1日で1m～1m20cmも成長するそうで、世界で最も成長が早い植物の一つです。樹木では芽や根の先端にある成長点や、樹皮の下にある形成層で細胞分裂が行われ、成長点では縦方向に、形成層では横方向に成長（肥大成長）していきます。しかし竹では、竹の子の状態ですでに存在している節（50個程度）毎に成長点（組織）が存在し、これらが同時に細胞分裂を行い成長（節間成長）するため、短期間で急成長します。出てきた竹の子は2～3ヶ月で10～20mの高さまで成長し、以後成長することはありません。

竹林管理の格言に「竹の間隔は傘をさして歩けるくらい」と言うものがあります。昔から美しい竹林で有名な京都府では、適度な間隔になるように竹を伐採し、見通しの良い健康な竹林へと管理する取組が行われています。葛葉緑地の九沢の竹林も、このような美しい竹林にしていきたいと思っています。

文・写真：くずはの広場所長 高橋孝洋



3/8(日)「ミニ野鳥観察会」(10人)

参加者の声 ・前回より鳥の名前がわかるようになって嬉しかったです。キセキレイの黄色きれいでした。
・予想以上に沢山の野鳥を見る事ができました。鳥の見分け方や鳴き声の説明がとても分かりやすかったです。



3/28(土)「春のお散歩観察会」(9人)

参加者の声 ・知らないとお目につく花しか見ないけど、周りにも足元にもかわいらしく一生懸命咲いているので、にっこりとしてしまいます。植物、自然界すばらしい！
・こんなにたくさんの花が咲いていたことに驚きました。

くずはの家 行事案内

日 時	テ ー マ・場 所・講 師	対象・定員	受付開始
4月12日(日) 10:00～11:30	「ちびっこあつまれ！ 春の自然をさがそう」 くずはの広場指導員	3～6歳の幼児と 保護者20名	4月1日 残りわずか
4月25日(土) 9:30～11:30	「ドキドキわくわく♪ 春の小川で生き物さがし」 えのきの会水辺分科会・くずはの広場指導員	小学3年生以上 20名	4月1日
4月29日(水・祝) 9:30～15:00	「くずはの家 春のつどい」 グリーン・オリエンテering/もりりんと森の音楽隊/ はだの名水喫茶/モルック大会 / 鉢植え風メロスタンプ作り(秦野ガス)	どなたでも *モルック大会 のみ要申込 *工賃は先着80名	当日受付 14:00まで *モルック大会 は4月15日
5月2日(土) ～6日(水・祝) 9:30～16:30	「もいん登場 30周年記念・ 30本の本をめぐるスタンプラリー」 場所：くずはの広場	どなたでも	当日受付 16:00まで
5月3日(日) 14:00～15:00	「かみしばい はじまるよ♪」 場所：くすのき広場	どなたでも	当日受付
5月21日(木) 22日(金) 18:30～20:30	「ほたるの観察会」 くずはの広場所長	小学生以上 各回30名	5月1日
5月23日(土) 9:30～11:30	「広場で虫をさがそう」 えのきの会昆虫分科会・くずはの広場指導員	小学生以上 30名	5月1日



ボランティア活動の様子：九沢の竹林整備

行事へのお申し込み・お問い合わせは
電話・FAX・メールで

TEL&FAX 0463(84)7874
E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

4月の休館日
6日、13日、20日、
27日、30日

5月の休館日
7日、8日、11日～13日、18日、25日

くずはの家
ホームページ

くずはの家
メールアドレス

秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家の ボランティア活動

3月の活動

定例会：今月は2年ぶりに九沢の竹林整備を行いました。臨時作業も含めて3回行い、枯れた竹を切り倒し、美しい竹垣も作りました。その他に、竹の名札の塗装や、くすのき広場の草の片付け、新たに入って来た外来植物の駆除も行いました。

花壇の会：春の芽吹きに向けて、枯草の整備とピラカンサなどの樹木の剪定を行いました。

とんぼのせせらぎ：雨のため、中止としました。3月末からゲンジボタルの幼虫の上陸が始まりました。これから土の中で蛹になります。

★今年度は、のべ570名を超える会員の皆さんにご参加いただきました。くずはの広場は市民の皆様のお力で維持管理されています。心より感謝申し上げます。

☆これからの活動

定例会：4/16(木)、5/3(日)、5/21(木)
花壇の会：5/1(金)
とんぼのせせらぎ：4/23(木)

セブン・イレブン
記念財団

くずはの広場観察路マップ

2026年3月30日

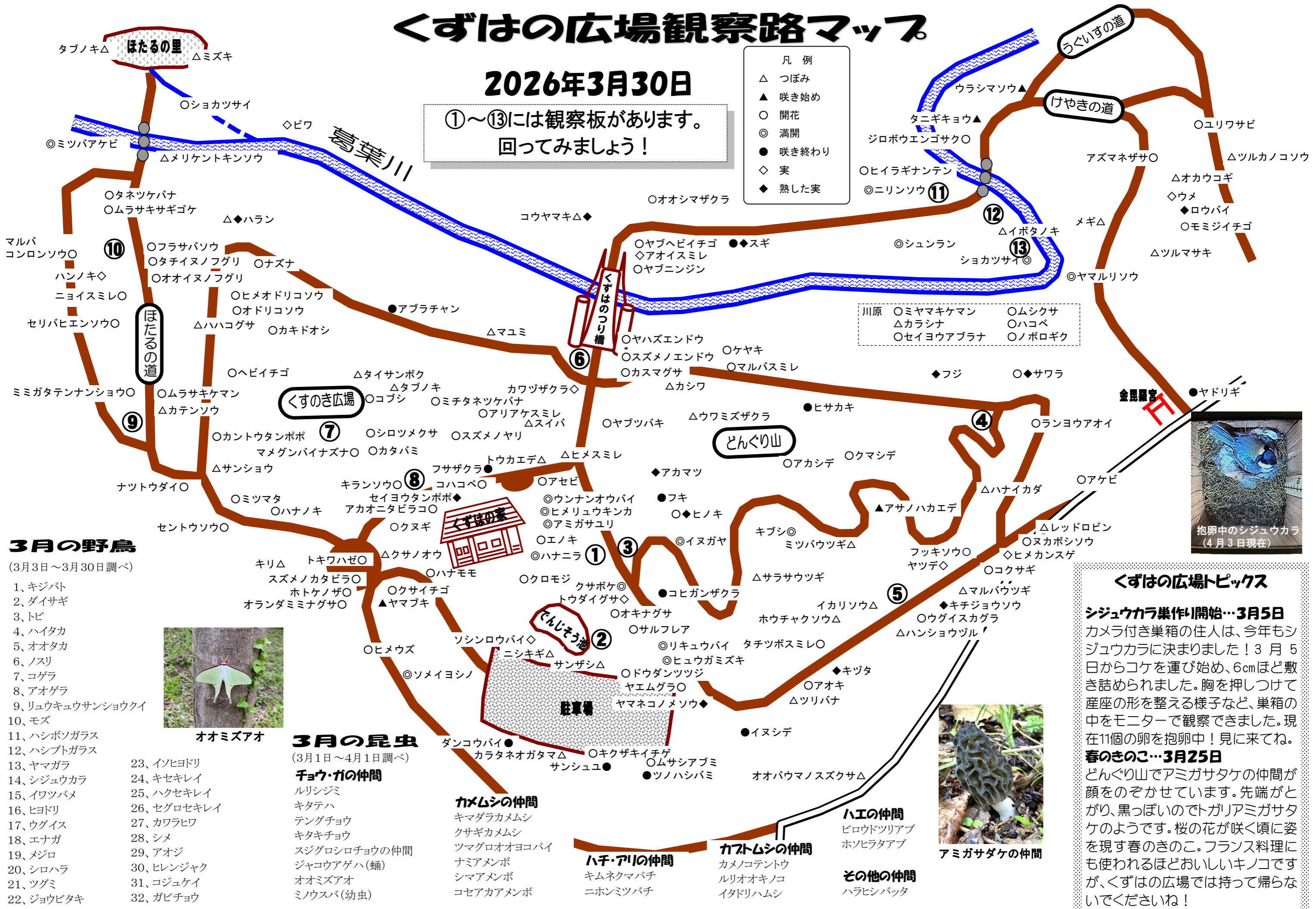
①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

凡例

△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実

川原

○ミヤマキケマン	○ムシクサ
△カラシナ	○ハコベ
○セイヨウアブラナ	○ノボロギク



3月の野鳥

(3月3日～3月30日調べ)

- 1、キジバト
- 2、ダイサギ
- 3、トビ
- 4、ハイタカ
- 5、オオタカ
- 6、ノスリ
- 7、コゲラ
- 8、アオゲラ
- 9、リュウキュウサンショウクイ
- 10、モズ
- 11、ハシボソガラス
- 12、ハシブトガラス
- 13、ヤマガラス
- 14、シジュウカラ
- 15、イワツバメ
- 16、ヒヨドリ
- 17、ウグイス
- 18、エナガ
- 19、メジロ
- 20、シロハラ
- 21、ツグミ
- 22、ジョウビタキ
- 23、インビヨドリ
- 24、キセキレイ
- 25、ハクセキレイ
- 26、セグロセキレイ
- 27、カワラヒワ
- 28、シメ
- 29、アオジ
- 30、ヒレンジャク
- 31、コジュケイ
- 32、ガビチョウ



オオミズアオ

3月の昆虫

(3月1日～4月1日調べ)

- チョウ・ガの仲間**
- ルリシジミ
 - カタテハ
 - テングチョウ
 - カタキチョウ
 - スジグロシロチョウの仲間
 - ジャコウアゲハ(蛹)
 - オオミズアオ
 - ミノウスバ(幼虫)

カメムシの仲間

- キマダラカメムシ
- クサギカメムシ
- ツマグロオオヨコバイ
- ナミアメンボ
- シマアメンボ
- コセアカアメンボ

ハチ・アリの仲間

- キムネクマバチ
- ニホンミツバチ

カブトムシの仲間

- カメノコテントウ
- ルリオオキノコ
- イタドリハムシ

ハエの仲間

- ピロウドツリアブ
- ホソヒラタアブ

その他の仲間

- ハラヒシバッタ

くずはの広場トピックス

シジュウカラ巣作り開始…3月5日

カメラ付き巣箱の住人は、今年もシジュウカラに決まりました！3月5日からコケを運び始め、6cmほど敷き詰められました。胸を押しつけて産座の形を整える様子など、巣箱の中をモニターで観察できました。現在11個の卵を抱卵中！見に来てね。

春のきのこ…3月25日

どんぐり山でアミガサタケの仲間が顔をのぞかせています。先端がとがり、黒っぽいのでトガリアミガサタケのようです。桜の花が咲く頃に姿を現す春のきのこ。フランス料理にも使われるほどおいしいキノコですが、くずはの広場では持って帰らないでくださいね！



抱卵中のシジュウカラ (4月3日現在)



アミガサタケの仲間